

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～8組

教科担当者：（12組：土屋、松岡、横塚）（34組：土屋、西部、横塚）（56組：土屋、西部、横塚）（78組：西部、松岡、横塚）

使用教科書：（大修館書店 新編 言語文化）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		話	聞	書 読						
1 学 期	A 『良識派』 【知識及び技能】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使う。 読書の意義と効用について理解を深める 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的に関わろうとする態度を養う。	・漢字の読み書き ・登場人物の心情をとらえる。 ・本文の読解 ・言語文化（大修館書店） ・トータルサポート国語便覧（大修館書店） ・一人1台端末	○			・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	○	○	○	5
	B 『夢十夜』 【知識及び技能】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使う。 読書の意義と効用について理解を深める 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的に関わろうとする態度を養う。	・漢字の読み書き ・登場人物の心情をとらえる。 ・本文の読解 ・言語文化（大修館書店） ・トータルサポート国語便覧（大修館書店） ・一人1台端末		○		・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1
C 『羅生門』 【知識及び技能】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使う。 読書の意義と効用について理解を深める 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的に関わろうとする態度を養う。古典作品への興味関心をもつ。	・漢字の読み書き ・登場人物の心情をとらえる。 ・本文の読解 ・言語文化（大修館書店） ・トータルサポート国語便覧（大修館書店） ・一人1台端末			○	・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	○	○	○	12	
	定期考査					○	○		1	

